学校番号	1006

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語総合	単位数	４単位	年次	１年次
使用教科書	「　新編 国語総合　」　（数研出版）						
副教材等	新漢字の学習４～２級　（三省堂編修所）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・国語総合では「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の４技能すべてについて学習します。
　すべての科目の基礎となる力・社会人に必要となる基礎的な力を伸ばしましょう。
・具体的には、「話すこと・聞くこと」では聞き手を意識した話し方と傾聴、
　「書くこと」では文章構成法やナンバリング、
　「読むこと」では接続語や指示語などの読解の基礎を習得します。
・漢字・語彙力は、国語力の基礎となるとても重要なものです。副教材を活用してください。
　進学や就職の際に役に立つ「日本漢字能力検定」などの資格の取得もめざしましょう。
・古典の時間では、基礎的な古文と漢文の作品に触れ、
　言語文化に慣れ親しむことを通じて、言語への感覚を磨きましょう。
・定期考査は学習計画を立てて臨むようにしましょう。また提出物の期限はしっかりと守りましょう。

２　学習の到達目標

・実社会に必要となる基本的な国語の知識や技能を身につけるようにする。
・論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばす。
・他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。
・我が国の言語文化に対する理解を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持つ。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c: 書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、その向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりすることができる。	相手や目的、意図に応じて、適切な文章を構成することができる。	目的に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・記述の点検（ノート・プリント等）	・行動の観察（発表などのパフォーマンス評価） ・定期考査	・記述の確認及び分析（プリントなど） ・定期考査	・定期考査 ・記述の確認及び分析（プリントなど）	・定期考査 ・記述の確認（ノート・プリント・小テストなど） ・行動の観察
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。					

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論(一)	【近代以降(評論)】 ・評論の基本的な読解方法を知る(指示語・接続語など)。 ・対比構造を理解する。 ※教材:石田衣良『世界は一つのクラスルーム』 山崎正和『水の東西』	○			◎	○	a:評論の読解方法について、進んで習得しようとしている。 d:評論の基本的な読解方法・対比構造について理解し、それらを踏まえて読むことができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	小説(一)	【近代以降(小説)】 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ※教材:芥川龍之介『羅生門』	○			◎	○	a:小説のおもしろさを味わおうとしている。 d:登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取ることができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	表現の実践	【近代以降】 ・原稿用紙の使い方 ・さまざまな文章構成について知り、それを使い分けて文章を書いてみる。	○		◎		○	a:さまざまな文章構成があることを踏まえ、文章を書こうとしている。 c:さまざまな文章構成を使い分けて文章を書くことができる。 e:さまざまな文章構成のあり方について知っている。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の確認及び分析・定期考査 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	古文入門	【古典(古文)】 ・歴史的仮名遣いに慣れる。 ※教材:『宇治拾遺物語』「児のそら寝」	○			◎	○	a:古文に親しみをもち、話のおもしろさを味わおうとしている。 d:辞書を活用することを通して、平易な古文を読むことができる。 e:歴史的仮名遣いのきまりについて理解している。また読解に必要な単語・文法・古典知識を理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	古文に親し	【古典(古文)】 ・動詞の活用について理解する。	○			◎	○	a:古文に親しみをもち、話のおもしろさを味わおうとしている。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述

		※教材:『徒然草』						d:辞書を活用することを通して、平易な古文を読むことができる。 e:動詞の活用のきまりについて理解する。また読解に必要な単語・文法・古典知識を理解している。	の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
2学期	評論(二)	【近代以降(評論)】 ・評論の基本的な読解方法を言語知識として習得する(指示語・接続語・文章構成など)。 ・対比構造について理解を深める。 ※教材:中村明『語感トレーニング』	○			◎	○	a:評論の読解方法について、進んで習得しようとしている。 d:評論の基本的な読解方法・対比構造について理解を深め、評論を読むことができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	評論(二)	【近代以降(評論)】 ・評論の基本的な読解について深めていく(指示語・接続語・文章構成など)。 ※教材:村山明『ものづくり』	○			◎	○	a:評論の読解方法について、進んで習得しようとしている。 d:評論の基本的な読解方法について理解を深め、評論を読むことができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	小説(三)	【近代以降(小説)】 ・登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取る。 ※教材:井上ひさし『ナイン』 宮下奈都『カレーうどん』	○			◎	○	a:小説のおもしろさを味わおうとしている。 d:登場人物の性格・心理・行動を的確に読み取ることができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	表現の実践	【近代以降】 ・ナンバリングの方法について知り、それを用いて文章を書いてみる。	○		◎		○	a:ナンバリングの方法を活用して文章を書こうとしている。 c:ナンバリングを使って文章を書くことができる。 e:ナンバリングの方法について知っている。	a:行動の観察・記述の点検 c:記述の確認及び分析・定期考査 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	古文に親しむ	【古典(古文)】 ・形容詞・形容動詞について理解する。 ※教材:『伊勢物語』「芥川」	○			◎	○	a:古文に親しみをもち、話のおもしろさを味わおうとしている。 d:辞書を活用することを通して、基礎的な古文を読むことができる。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の

								e:形容詞・形容動詞のきまりについて理解する。また読解に必要な単語・文法・古典知識を理解している。	観察
	説話と随筆	【古典(古文)】 ・助動詞について理解する。 ※教材:『伊勢物語』「筒井筒」	○			◎	○	a:古文に親しみをもち、話のおもしろさを味わおうとしている。 d:辞書を活用することを通して、基本的な古文を読むことができる。 e:助動詞について理解する。また読解に必要な単語・文法・古典知識を理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	物語と日記	【古典(古文)】 ・助動詞について理解する。 ※教材:紀貫之『土佐日記』「門出」	○			◎	○	a:古文に親しみをもち、話のおもしろさを味わおうとしている。 d:辞書を活用することを通して、基本的な古文を読むことができる。 e:助動詞についてさらなる理解を深める。また読解に必要な単語・文法・古典知識を理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
3学期	評論(三)	【近代以降(評論)】 ・評論の基本的な読解方法について理解を深め、言語技術として習得する。(指示語・接続語・文章構成など)。 ※教材:佐藤信夫『コインは円形か』	○			◎	○	a:評論の読解方法について、進んで習得しようとしている。 d:評論の基本的な読解方法についてさらなる理解を深め、評論を読むことができる。 e:読解に必要な漢字・語句について理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	表現の実践	【近代以降】 ・プレゼンテーションの基礎(声量の大小、アイコンタクト、ツールなど)について知り、実践する。	○	◎			○	a:効果的に伝えるための技術を踏まえ、話そうとしている。 b:効果的に伝える技術を踏まえ、聞き手を意識して話すことができる。 e:効果的に伝えるための技術(声量の大小、アイコンタクト、ツールなど)を知っている。	a:行動の観察・記述の点検 b:行動の観察 e:定期考査・記述の確認・行動の観察

	漢文入門	【古典(漢文)】 ・訓読に親しむ。 ・訓読のきまり・書き下し文のきまりを理解する。	○			◎	○	a:漢文に親しみをもとうとしている。 d:平易な漢文を読むことができる。 e:訓読のきまりについて理解する。また読解に必要な単語・文法・古典知識を理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察
	故事成語	【古典(漢文)】 ・訓読のきまり・書き下し文のきまりをおさえ、漢文を読む。 ※教材:故事成語「漁夫の利」	○			◎	○	a:漢文に親しみをもち、話のおもしろさを理解しようとしている。 d:基礎的な漢文を読むことができる。 e:訓読のきまりについてさらに理解を深める。また読解に必要な単語・文法・古典知識を理解している。	a:行動の観察・記述の点検 d:定期考査・記述の確認及び分析 e:定期考査・記述の確認・行動の観察

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、またその単元で主として扱う国語の領域(「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」)にかかわる観点には◎を付している。